

様式 (6)

学 位 審 査

| | | | |
|---|------------|-------|-------|
| 学 位 番 号 | 乙 第 2771 号 | 氏 名 | 三宮 彰仁 |
| 審 査 委 員 会 | 主 査 教 授 | 新田 孝作 | |
| 論文審査の要旨 (400 字以内) | | | |
| <p>本研究の目的は、リツキシマブ投与脾温存 ABO 式血液型不適合者間腎移植の臨床成績を検討することである。</p> <p>100 例の ABO 式血液型適合者間腎移植患者を対象として、年齢、性別、移植前透析期間および移植後退院時の血清クレアチニン(Cr)値をマッチさせた 100 例のリツキシマブ投与脾温存 ABO 式血液型不適合者間腎移植患者の臨床成績を比較した。</p> <p>阻血時間、血流再開から初尿発現までの時間、2 年後の血清 Cr 値、急性抗体関連型拒絶反応の発症率および 5 年生着率に有意差を認めなかった。しかし、急性細胞性拒絶反応の発症率は、血液型不適合群 2 例(2%)に対し、血液型適合群 14 例(14%)と有意にリツキシマブ使用群で少なかった(p=0.0018)。</p> <p>リツキシマブは CD20 を標的とするキメラ型モノクローナル抗体で、抗血液型抗体などの産生を抑制するため、脾臓を温存する術式が確立された。今回の検討で、B 細胞の制御を介して T 細胞の活性化を抑制することで、急性細胞性拒絶反応を減少させたと考えられた。</p> | | | |
| 本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に学務部医学部大学院課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条] | | | |